

令和 7 年度決算を踏まえた収支見通しについて

1 要旨

令和 8 年 2 月に策定した「広島県水道広域連合企業団財政収支計画」（以下「財政収支計画」という。）の収支見通しについて、令和 7 年度決算を踏まえて更新を行ったため、その内容を報告する。

2 令和 7 年度決算を踏まえた収支見通しの概要

財政収支計画の収支見通しについて、令和 7 年度の予算額を決算額に置き換えるとともに、当該決算及び最新の試算条件を反映して、令和 9 年度以降の収支見通しを更新した。

(1) 水道事業

ア 収支見通し

料金を据え置いた場合の水道事業全体の収支は、金利の上昇や物価上昇率の上振れ等により、財政収支計画と比較してやや悪化する見通しとなった。

なお、令和 11 年度から赤字となる見通しに変わりはない。

【更新後】令和 7 年度決算を踏まえた収支見通し

単位：億円（税抜）

区分/年度	R5決算	R6決算	R7決算	R8予算	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R5～14
営業収益	230	231	231	233	232	230	229	228	227	226	2,298
うち給水収益	226	227	226	228	227	226	225	224	222	221	2,252
営業費用	254	254	255	280	267	270	274	279	279	283	2,696
うち維持管理費	148	149	150	169	154	155	156	157	155	156	1,549
うち減価償却費	105	106	105	112	113	115	118	122	124	127	1,147
営業外収益	55	54	54	55	51	51	51	52	53	53	528
営業外費用	8	7	7	8	8	9	10	12	14	16	99
当期純損益	27	24	23	1	7	2	▲4	▲11	▲13	▲20	35
建設工事費	117	164	176	271	263	233	297	306	241	182	2,249
資金残高	371	334	313	245	214	202	173	148	137	124	124
企業債残高	558	528	507	509	521	536	585	628	673	683	683
給水原価（円/㎡）	226	231	231	260	242	251	260	273	282	294	294

【更新前】財政収支計画の収支見通し

単位：億円（税抜）

区分/年度	R5決算	R6決算	R7予算	R8予算	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R5～14
営業収益	230	231	233	233	230	228	228	227	227	226	2,293
うち給水収益	226	227	228	228	225	224	223	223	222	221	2,247
営業費用	254	254	273	280	267	271	274	282	278	281	2,713
うち維持管理費	148	149	166	169	152	152	154	155	153	154	1,550
うち減価償却費	105	106	107	112	115	118	120	127	125	127	1,162
営業外収益	55	54	56	55	53	53	53	54	54	55	541
営業外費用	8	7	7	8	7	7	8	9	10	12	83
当期純損益	27	24	9	1	8	4	▲2	▲10	▲7	▲13	42
建設工事費	117	164	219	244	230	229	262	283	294	191	2,233
資金残高	371	334	289	233	211	199	183	168	157	148	148
企業債残高	558	528	525	517	518	531	577	615	665	674	674
給水原価（円/㎡）	226	231	251	260	241	248	255	266	271	282	282

イ 財政運営目標

令和 9 年度以降の損益はやや悪化する見通しとなったものの、令和 14 年度の資金残高は 124 億円で年間給水収益の 56%（目標：33%以上確保）、企業債残高は 683 億円で年間給水収益の 308%（目標：概ね 300%以内）となる見込み。

区分	指標	財政運営目標	R14 年度 (R7 決算更新後)
資金 (健全性)	資金残高対給水収益比率	33%以上確保 (毎年度末)	56%
企業債残高 (債務の状況)	企業債残高対給水収益比率	概ね 300%以内 (R14 年度)	308%

ウ 事業別の状況

支払利息の増加などにより、損益が赤字となる年度が早まった事業や計画期間中は黒字見込みになっていたが赤字となる事業が発生。

区分	事業
赤字年度前倒し	大崎上島 (R9)、安芸高田 (R11)、江田島 (R12)、東広島 (R13)
黒字維持から赤字	廿日市 (R13)
赤字年度変更なし 又は黒字維持	府中・三次・北広島 (R8)、庄原 (R9)、竹原 (R10)、三原・世羅 (R11)、熊野・神石高原・水道用水供給事業 (黒字維持)

(2) 工業用水道事業

- 令和 8 年度の料金を据え置いた場合の収支は、財政収支計画と変わらず、令和 11 年度から赤字となる見通しである。
- 主な損益の変動要因は、支払利息の増加によるものである。

【更新後】令和 7 年度決算を踏まえた収支見通し

単位：億円（税抜）

区分/年度	R5決算	R6決算	R7決算	R8予算	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R5~14
営業収益	26	23	24	26	25	25	25	25	25	25	252
うち給水収益	20	17	18	19	19	19	19	19	19	19	185
営業費用	25	23	25	30	26	27	27	28	29	29	269
うち維持管理費	19	17	18	23	19	19	19	20	20	20	194
うち減価償却費	6	6	6	8	7	7	8	8	9	10	75
営業外収益	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	34
営業外費用	1	1	1	1	1	2	2	2	3	4	18
当期純損益	4	3	2	▲2	1	0	▲1	▲2	▲3	▲5	▲2
建設工事費	9	19	23	41	16	17	13	20	16	21	196
資金残高	35	37	40	39	39	39	37	35	34	31	31
企業債残高	92	103	116	142	152	161	166	179	188	202	202
給水原価 (円/㎡)	33	31	32	40	26	27	29	30	32	34	34

【更新前】財政収支計画の収支見通し

単位：億円（税抜）

区分/年度	R5決算	R6決算	R7予算	R8予算	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R5~14
営業収益	26	23	26	26	25	25	25	26	25	25	254
うち給水収益	20	17	18	19	19	19	19	19	19	19	185
営業費用	25	23	29	30	26	27	27	28	29	29	273
うち維持管理費	19	17	22	23	18	19	19	20	19	19	195
うち減価償却費	6	6	6	8	7	8	8	9	10	10	78
営業外収益	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	32
営業外費用	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	16
当期純損益	4	3	0	▲2	1	0	▲1	▲2	▲3	▲4	▲2
建設工事費	9	19	28	38	17	18	13	21	17	21	201
資金残高	35	37	37	36	37	36	35	34	33	30	30
企業債残高	92	103	119	142	152	161	167	181	191	204	204
給水原価 (円/㎡)	33	31	30	32	28	29	30	31	32	34	34

3 収支改善に向けた取組

- 業務の標準化によるコスト縮減や保守点検の強化による施設の長寿命化など、引き続き財政収支計画に定める収支改善策を着実に実施する。
- 水道事業においては、これらの取組の進捗状況や効果を踏まえながら、更なる収支改善に向けた対応の要否を検討する。